

1 広報紙「県民だより」の経費削減

(平成28年10月11日、決算特別委員会質問)



兵庫県が実施している「業務委託」は数多くあります。その中には、効率化を図ることで県民の皆さまから預かった税金を削減できる事業があります。

向山好一は、平成28年10月11日の決算委員会で、その1例として「広報紙・県民だより」を取り上げました。この広報紙は、毎月県下全域の240万軒に配布されていますが、過去10年間で同じ会社が委託を受け、その落札率は99%程度になっており、その結果、委託金額がほぼ2億2千万円程度で固定化されていました。

向山好一は、この業者選定の根拠となっている「提案型コンペ」の仕組みがおかしいと指摘し、委託料の削減に向けて改善すべき仕組みを具体的に提案しました。

公募方式の問題点

広報誌の制作・配布業務だけでなく、広告収入の委託も含めて一括して委託する仕組みとなっている方式により、応募できる企業は実質1社に限定され、かつ上限・下限額で受託できる仕組みになっており、全く競争原理が働いていなかった。

実現

毎年約1億円の経費削減を実現

向山好一の質問以降、県民だよりの委託公募方式を向山好一が提案した「制作・配布業務と広告収入業務を切り分けて公募する」方式に変更し、分離発注としたことによって、毎年1億円程度の減額が実現し税金の無駄遣いの改善が図れました。

過去5年間の契約額の推移 (単位: 千円)

年度	応募企業	印刷・配布契約額	落札率	広告収入額	落札率	県税投入額
H23	K社含む2社	269,715	100.6	51,100	99.8	218,615
H24	K社含む2社	268,937	100.0	51,100	99.8	217,837
H25	K社のみ	269,161	100.1	51,100	99.8	218,061
H26	K社のみ	265,804	98.1	52,564	97.0	213,240
H27	K社のみ	265,206	99.2	52,564	97.0	212,642

直近2年の「県民だより」発行金額 (単位: 千円)

年度	印刷・配布契約額	広告収入額	県税投入額
H29	167,677	62,581	105,096
H30	153,612	63,534	90,078

向山の指摘で、兵庫県も発注を分離方式に変更したことによって、毎年約1億円のコストダウンにつながっている。

2 但馬空港の闇に迫る!

(平成29年2月24日、本会議一般質問)

—県税投入約7億円、経済効果1.5億円、何のための空港か—
開港24年を迎える但馬空港、伊丹⇄但馬間一日2往復の運航で当初の利用客予想の半分の3万人/年程度に留まっています。



そもそも但馬空港はエアラインが全く興味を示さず、日本エアコミューター (JAC) に就航と引き換えに航空機の購入代金の肩代わりなど異例づくめの税金投入を行って開港しました。さらに濃霧の発生により冬場の就航率は80%を切っています。

このような欠陥空港に下表に示すとおり**毎年県の税金だけでも6億7000万円が使われています(下表参照)**。つまり、乗客一人当たり2万2千円、往復すると4万4千円の税金負担をしています。こんな空港は他に見当たりません。

一方、但馬空港による経済効果は、兵庫県の試算では1億5000万円(但馬空港の利活用方策)。つまり、7億円近く県税を投入してもその1/4も効果を発揮しない全く税金投入の意味のない空港なのです。さらに周辺では、北近畿豊岡道、山陰近畿自動車道(通行料無料)が整備され、都心部から但馬地域への移動は飛躍的に便利になっており、但馬空港の競争力は低下こそすれ高まることはありません。

継続

廃港か機能転換を迫る

向山好一は、2月24日の一般質疑でこの問題を取り上げ、これ以上の税金の無駄使いは許されないと訴え、廃港するか(将来、鳥取空港までの移動時間が30分に短縮になる)、もしくは存続を目指すのなら但馬空港の機能転換を迫りました(例示した具体的な機能転換は下表)。

それに対し、井戸知事は但馬地域の発展には欠かせない都市基盤としてこのままの継続の方針を示しましたが、この無意味な税金の無駄遣いは看過できず、但馬空港の闇を継続して追及していくつもりです。

異例づくめの優遇策

(平成28年予算ベース)

1. エアラインへの赤字補填
.....1億5000万円
 2. 就航する飛行機購入代として
.....1億4000万円
 3. ターミナル(株)への補助金
.....3億8000万円
 4. 利用促進の運賃補助
..... 9000万円(地元市町)
- *別途、建設費180億円かかっているが全て無償貸与

向山好一が提示した機能転換案

1. 北朝鮮の脅威に備えたレーダー基地との併用
2. 外国人旅行者をターゲットとした関空⇄但馬間への転換
3. 首都圏とを結ぶ羽田⇄但馬間への転換